

学校教育目標 『よりよく生きる』

南 中 学 校 048-982-1066

さわやか相談室 048-981-8749

HP <https://www.yoshikawa.ed.jp/minami-jh>



R7.4.8現在	学級数	生徒数
1 学 年	4	140
2 学 年	4	124
3 学 年	4	141
特別支援	5	27
合 計	17	432



創立79年目

今年度もよろしく願いいたします

校長 野辺 茂樹

学校のソメイヨシノが今、鮮やかに咲き誇っています。春休みに肌寒い日が続いたことで多くの蕾の開く時期が少しだけ遅くなり、おかげで入学式・始業式にも何とか、桜咲く姿を楽しむことができそうです。

いよいよ今日から、令和7年度が始まります。今年度、本校は新入生152名を迎え、全校生徒数432名、17学級（特別支援学級5学級を含む）、県費負担教職員35名でスタートします。どうぞよろしくお願いいたします。

ところで、昨年度もこの機会に書きましたが、皆さんは「学校」とはどんな場所だと考えていますか。教育学者の平塚益徳（ひらつかますのり、1907～1981）氏は、「学校に必要な7つの条件」の中で、学校について以下のように述べています。

- 1 学校とは、元来、静かな場所である。
- 2 学校とは、神聖な清められた場所である。
- 3 学校とは、専門的な教師により教えられ導かれる場所である。
- 4 学校とは、嫌いな教科が好きに、不得意な教科が得意になる場所である。
- 5 学校とは、すべてが身につく学習が展開される場所である。
- 6 学校とは、生涯にわたるよき友に出会える場所である。
- 7 学校とは、優れた教師につくことができる場所である。

変化の激しい世の中で、学校の様子も私たち大人が学生の頃とはだいぶ変わってきました。1人1台タブレットを活用したり教室や体育館にエアコンがあったり、教科書に書かれている内容も昔とはだいぶ変わってきています。しかし現在でも不易の部分において、学校のもつ良さや学校が愛される意義について、変わらないものがあると考えています。静かで落ち着いた環境で、成長期真っ只中の中学生が勉強に運動にと日々切磋琢磨し、教育への情熱と使命感に満ちた教師のいる、生徒同士そして恩師との人生の宝物となる出会いのある、そんな学校を目指し、今年度も目の前のこども達のために取り組んでいきたいと考えています。

さて、今年度も本市教育大綱『家族を 郷土を愛し 志を立て 凜として生きてゆく』を受け、学校教育目標『よりよく生きる』を掲げ、その具現化に向けて取り組んでいきます。人はみな、豊かにして無限の可能性を持っています。ともに出会い、学び、感動し、成長し合える場としての学校を全力で目指します。

併せて、生徒の皆さんには本校の目指す生徒像である『自ら学ぶ生徒』『自らあいさつをかわす生徒』『自ら汗を流す生徒』であってほしいと考えています。それぞれに対し、

「自ら学ぶ生徒」…○目標を持ち、進んで学習できる生徒

○人の話をよく聞き、自分の考えが言える生徒

○分かり、できるまで粘り強く取り組む生徒

「自らあいさつをかわす生徒」…○明るいあいさつや返事ができる生徒

○思いやりの心を持ち、自他を大切にできる生徒

○正しい判断に基づき、自ら進んで行動する生徒

○社会に主体的に関わり、貢献しようとする生徒

「自ら汗を流す生徒」…○困難に負けず、最後までやり遂げられる生徒

○自ら進んで心と体を鍛えようとする生徒

○進んで健康で安全な生活を送る生徒

と考えています。

今年度も本校教職員一同、これまでに築き上げられた伝統を受け継ぎ、新たな価値の創造を目指し、家庭・地域と一体となり、活力に満ちた魅力ある教育活動に取り組む所存です。どうぞよろしくお願いいたします。